

人事・人材開発スタッフフォーラム

2023年度 第27期

夢工房

「夢工房」は、人事・人材開発スタッフとして
将来の「自社像」と「自身の夢」を描き、実現に向けての
想像力・論理構築力・実践力を養う場です。

会 期

2023年6月～12月の7カ月間
合計研修日数12日間／全8単位(うち合宿4回)

参加対象

人事・人材開発・経営企画部門等、企業の中で人と
組織の課題に携わる若手・中堅スタッフの方々
(年齢の目安:30歳前後～40歳前後、人事・人材関連業務の経験年齢は問いません。)

開催場所

日本能率協会研修室(大阪市北区梅田)他

※合宿会合は、他都道府県で開催する場合があります。

参加定員

24名(1社2名まで)

トータルコーディネータ

花 田 光 世

慶應義塾大学 名誉教授／一般財団法人SFCフォーラム 代表理事

単位講師

高 橋 俊 介

慶應義塾大学SFC研究所 上席所員／ピープルファクターコンサルティング 代表

※その他、有力企業の人事・人材開発部門リーダーの方などをゲストスピーカーとしてお招きします。

お申込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)から直接で

JMA 夢工房 または
セミナー ID(半角数字) JMA 100233 で検索
もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

2



スマートフォン・
タブレットから



※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は、JMAマネジメントスクールまでお電話(03-3434-6271)にてお問合せください。

受講料

早期1次申込割引 2023年1月31日必締切	一般社団法人日本能率協会 法人会員	左記会員外
参加料(税込)	396,000円/1名	440,000円/1名
早期2次申込割引 2023年3月31日必締切	一般社団法人日本能率協会 法人会員	左記会員外
参加料(税込)	418,000円/1名	462,000円/1名
通常申込	一般社団法人日本能率協会 法人会員	左記会員外
参加料(税込)	462,000円/1名	517,000円/1名

1次申込が
おトクです!

※本事業開催時の消費税率を適用させていただきます。
※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。

<https://www.jma.or.jp/membership/list/>

【上記参加料に含まれるもの】

●研修費、資料費

【上記参加料に含まれないもの(貴社にてご負担ください)】

●研修現地までの交通費 ●研修中の移動交通費、食費(一部事務局にて負担)
●研修で使用する課題図書、参考文献代 ●合宿・懇親会に関わる実費

お申込み締切日

2023年4月28日(金)

定員

24名(1社2名様までとさせていただきます)

会員制度のご案内

小会は法人を対象とした会員制度を設けセミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。詳しくは関西事務所までお問合せください。

キャンセル規定

参加予定の方のご都合が悪い場合は下記のキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。
なお、キャンセルの申し入れは文書(メール・お問合せフォームを含む)をお送りください。

開催30日前(開催日を含まず起算)～8日前 受講料の10%
開催7日前(開催日を含まず起算)～前日 受講料の50%
開催日当日 受講料の全額

ご注意

●参加申込規定はお申込ページにごございますので、ご確認・同意の上、お申込ください。
●同業他社からのご参加はお断りする場合があります。
●参加者数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止にさせていただく場合がございます。

申込に関する問合せ先
(参加証・請求書、キャンセル・変更等)

JMAマネジメントスクール
TEL:03(3434)6271

〈電話受付時間〉月～金曜日 9:00～17:00 ただし祝日を除く
メール:seminar@jma.or.jp FAX:03(3434)5505

企画に関する問合せ先
(プログラム内容、会員入会等)

一般社団法人日本能率協会 関西事務所
TEL:06(4797)2050(代表)

大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビルディング6階
メール:jma-kansai@jma.or.jp



日本の経営革新
×
学びと成長



日本能率協会(JMA)は、企業経営の要である「ひと」の力を最大にすることを通じ、新たな経営・組織づくりに貢献します。
社長・役員向けプログラムのほか、次世代経営者・幹部育成のための長期プログラム、役職別の能力開発研修、人事・教育・マーケティングなど専門領域のスキルアップ研修など年間2,000本以上の公開型研修を開催しています。
また、企業・自治体・学校に向け、個別課題解決支援を行っています。

JMAが選ばれ続ける4つの理由

1 現場課題に
合わせた
プログラム内容

2 実践力のつく
演習

3 研修結果を
継続させる仕組み

4 多様な業界、
業種と交流

開催の ねらい

VUCAの時代と言われる昨今のビジネス環境は、ますます先行きの予測困難性が高まっています。そのようななか、変化に適応できる人・組織づくりの担い手である人事部門への期待は日ごとに高まっています。

変革を推進し、経営戦略のパートナーとして活躍する人事・人材開発の仕組みは、企業の成長・発展に欠くことのできない要素といえます。また一方で、働く人々の能力と意欲を高める組織風土の醸成も、人事・人材開発の大きな役割です。

本「夢工房」では、このような環境において、近い将来の組織・人事戦略をデザインし、実行できる人材の育成を図り、**コーディネーターの問題提起・ゲスト講演・チーム討議等、7カ月間・全8回の熱のこもった研修**を進めてまいります。



将来の組織・人事戦略をデザインし、 実行できる人材を育成する

HRリーダーとしての 見識と実践力の養成

- 1 自社の経営組織に対してあるべき姿「**夢**」を描ける**人材**を育成する。
- 2 「夢」の実現に向けての**論理構築力、実践力、説得力**を養う。
- 3 異業種交流により、自社の環境のみならず他社、他業種の環境にも精通し人事担当者としての**スケールを拡大**する。



参加 対象

人事、人材開発、経営企画部門等、
企業の中で「人と組織の課題」に
携わる若手スタッフの方

30歳前後～40歳前後の方を想定しています。
人事・人材開発関連業務の経験年数は問いません。

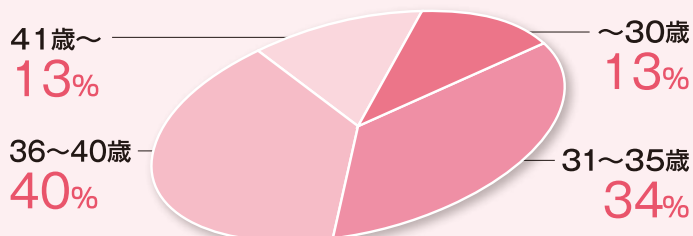
人事・人材開発・
組織開発の職務で
将来活躍が期待される方

本プログラムの趣旨を
理解し、積極的に
参加いただける方

出席、発言、グループ討議、
課題への取り組み等

前回(2022年度 第26期)参加者年齢

平均年齢**36.9歳** 人事・労務・教育の平均経験年数**8.0年**



プログラム

組織マネジメント・キャリア研究の第一線で活躍する講師による 12日間にわたる白熱した研修【全8単位(うち合宿4回)】

開催日／講師	内容・進め方	開催日／講師	内容・進め方
1 6月23日金 通い 慶應義塾大学 名誉教授 花田 光世	今、変化しつつある組織と 直面している課題 ①企業の盛衰と変化の対応 ②ピラミッド型組織の崩壊が意味するもの ③人的資源管理(HRM)からキャリア自律型の 人的資源開発へ ④新たな組織求心力とは ■自己紹介 ■基調講義、グループ討議、全体討議 ■懇親会  	2 7月14日金 ~15日土 合宿 慶應義塾大学 名誉教授 花田 光世	組織・人事機能の役割変化 ①組織体制の変化 ●人事部門の構造変化 ●グループ制 ●アウトソーシング／別会社化 ●アライアンス ②人事機能の役割変化 ●報酬 ●評価 ●昇進／昇格／異動 ●福利厚生 ●採用 ●ダイバーシティ ③人事のKPIの変化 ■講義、グループ討議、全体討議 ■ゲストスピーカー講義 ■懇親会  
3 8月2日水 通い 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授 高橋 俊介	人が育つ会社をつくる ～組織の人材育成力について 考える ①組織人材ビジョンとは、戦略とは ②なぜOJTが今、機能しないのか ③どうすれば組織の人材育成力が高まるのか ■講義、グループ討議、 全体討議  	4 8月23日水 通い 慶應義塾大学 名誉教授 花田 光世	モチベーション開発・働き方支援の 変化と個の活性化 ①キャリアアドバイザーと新EAP、ES ②働きやすさと働きがい ③こころの問題 ■講義、グループ討議、全体討議   
5 9月15日金 ~16日土 合宿 慶應義塾大学 名誉教授 花田 光世	キャリア自律とそれをサポートする 組織・人事制度 ①キャリア自律とは ②自分のバリューを知る ③ライフ・キャリア・チャート ④コンピタンシーの棚卸し ⑤キャリアビジョンとキャリアゴール ■MBTI診断 ■講義、グループ討議、全体討議 ■ゲストスピーカー講義 ■懇親会  	6 10月20日金 ~21日土 合宿 慶應義塾大学 名誉教授 花田 光世	人間理解をもとにした組織論 ①人の心への多様な理解 ②多様性を活かす組織とは ③モチベーション開発をベースに ④変化の時代の多様な個の強さ ■講義、グループ討議、全体討議 ■ゲストスピーカー講義 ■懇親会  
7 11月10日金 通い 慶應義塾大学 名誉教授 花田 光世	人間力とコンピタンシー ①今、なぜ人間力なのか ②コンピタンシーとは ③コンピタンシーを教育で活用する ④人間力が組織の中心に ■講義、グループ討議、全体討議   	8 12月7日水 ~8日金 合宿 慶應義塾大学 名誉教授 花田 光世	〈まとめ〉 これからの人事の役割とは ①これからの人事とキャリア支援の役割 ②ダイバーシティの意味 ③新しい時代における個人と組織の関係 ■講義、グループ討議、全体討議 ■企業訪問・ゲストスピーカー講義 ■懇親会 ■修了証授与   

※開催日・プログラム内容等は、変更となる可能性がありますので、予めご了承ください。 ※「上司オブザーブ」はご希望の場合に承ります。(敬称略)

変化・成長を実感する 充実のプログラム

一流の講師陣からの問題提起

講師からの良質な問いかけと、参加者同士の対話を通じて、自らの考えを構築します。



2022年10月(合宿・奈良市) ゲスト講師にK's laboの黒川賢一代表を迎えて

自己を見つめ直す

自身のキャリアにおいて大切にしていることの棚おろしをします。自分としっかり向き合い、ビジネスリーダーとなるための研鑽を積みまします。



2022年9月(合宿・神戸市) キャリア自律ワークショップ

現地・現場から学ぶ

現地・現場への訪問やゲスト講師を迎えるなど、人事や事業の担当者から直接話を聴くことで、「類推する力」を鍛えます。



2022年12月(最終合宿・那覇市) オリックス・ビジネスセンター沖縄様を訪問

必読書・課題レポートによる自己学習

必読書、課題レポートに繰り返し取り組むことで、時間を捻出してやり遂げる力、発信力、論理構築力を短期間で身につけます。



参加者の課題レポートはレポート集としてまとめます

講師プロフィール(敬称略)

トータルコーディネーター

花田 光世

慶應義塾大学 名誉教授
一般財団法人SFCフォーラム
代表理事



花田教授からのメッセージ

変わりゆく社会、組織、人材開発の流れの中で、今後の人事の方向性、自己のキャリアの羅針盤となる「夢」と「想い」を語り合ひましょう。

1971年慶應義塾大学文学部心理学科卒業。1974年南カリフォルニア大学教育心理学修士、同大学Center for Organizational Research Laboratory研究員。1978年南カリフォルニア大学大学院にてPh.D-Distinction取得。1986年産業能率大学経営情報学部教授就任。1990年慶應義塾大学総合政策学部教授、2000年同大学キャリアリソースラボラトリー代表、2014年より慶應義塾大学名誉教授、一般財団法人SFCフォーラム代表理事に就任。主な発表・論文・著書は、「人事制度における競争原理の実態」(組織学会賞受賞論文、組織科学)、「個性主義に根ざした人事制度の展開」(一橋大学ビジネスレビュー)、「グローバル戦略を支える人事システム(上下)」(ダイヤモンドハーバードビジネス)、「グローバル経営の組織」(総合法令)、最新著書は「『働く居場所』の作り方」(日本経済新聞出版社2013年)、「新ヒューマンキャピタル経営―エグゼクティブCHOを人材開発の最前線」(日経BP社2013年)、「キャリア自律の新展開」(一橋大学ビジネスレビュー、共著)他多数。

単位講師

高橋 俊介

慶應義塾大学
SFC研究所 上席所員
ピープルファクターコンサルティング
代表



1978年東京大学工学部航空学科を卒業後、日本国有鉄道に入社。米国プリンストン大学工学部修士課程を修了後、マッキンゼーアンドカンパニー、ワイアット(株)(現タワーズワトソン)代表取締役社長。同社を退任後、個人事務所ピープルファクターコンサルティングを通じ、コンサルティング活動を行う。2000年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授に就任。個人事務所による活動に加えて、藤沢キャンパスのキャリアリソースラボラトリーを拠点とした個人主導のキャリア開発についての研究に従事。2011年より慶應義塾大学政策・メディア研究科特任教授に就任し、2022年より現職。〈主要著書〉「(新版)人材マネジメント論」、「スローキャリア」、「組織マネジメントのプロフェッショナル」、「人が育つ会社をつくる キャリア創造のマネジメント」、「最強のキャリア戦略」、「自分らしいキャリアのつくり方」、他多数。

ゲスト(企業人)講師陣

好業績企業、グローバル企業の経営者・人事・人材開発責任者、リーダークラスによる企業事例の講義とディスカッション

〈過去出講頂いた講師企業〉

オリックス・ビジネスセンター沖縄、マツダグループ沖縄タイムス、howliveタイムズビル店、沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)、大和ハウスみらい価値共創センター「コトクリエ」、福岡地域戦略推進協議会、ASKUL LOGIST、Engineer Cafe、特定非営利活動法人AIP、The Company キャナルシティ博多前店、ソニー・太陽、立命館アジア太平洋大学、ホテルパームロイヤルNAHA、トレンドマイクロ、パナソニック、福岡ソフトバンクホークス、エイアンドダブリュ沖縄、SCSK、光合金製作所、田中造造、アメリカンホーム、サントリーホールディングス、全日本空輸、博報堂、山の宿新明館、ブラザー工業、資生堂、インテリジェンス、グローバルビジネス研究所、帝人、ソニー、NEC、ベネッセコーポレーション、富士ゼロックス、トヨタ自動車、三菱商事、日本エマソン、アークス、日本アイ・ビー・エム、東レ経営研究所、ハウジングオペレーションInc.、ハウスデンボス、日立製作所、フォードジャパン、パナソニックコンシューマーマーケティング、柳井ホールディングス、他(順不同・過去のご出講)

成長を促す JMAのサポートシステム

本フォーラムのねらいを実現するため、12日間のプログラムに加えて、次のような支援を行います。



1 フォローツールとしてメーリングリストを開設
各社の課題を共有し相談し合えるツールとして、フォーラム開始と同時にメーリングリストを開設いたします。
※7カ月間の会合で培うネットワークを更に充実させるため、フォーラム修了後もメーリングリストは継続します。

2 参加者の上司にもオブザーブの機会を提供
参加者の成長や変化を直に確認していただけます。

3 オフサイト勉強会の支援
全8会合以外にも、レポートや課題作成のための自主的活動の場を提供します。

4 JMA主催の各種イベントへの無料ご招待・ご優待
JMAが実施する調査・研究報告会や、人事・人材育成に関するイベント等に参加いただき、人事プロフェッショナルとしてのスケールを拡大する支援をいたします。

5 フォーラム修了後も同期会活動をサポート
継続して交流を続けやすいよう、参加者の自主活動をフォーラム修了後もJMAがバックアップいたします。

修了後のネットワーク ～生涯を通じて仲間とともに学ぶ～

参加者相互の研鑽は、フォーラムの修了をもって終わるのではなく、むしろその後が始まりといえます。7カ月間にわたって切磋琢磨することにより築かれたネットワークにて、参加者による自主活動が継続されています。自主活動では、メンバーの関心にそった勉強会、企業視察、懇談会などが実施され、直面する経営課題や人事・人材開発の最新動向について意見交換、情報交流を行っています。

同期メンバーという信頼できる社外ブレインは、修了者にとって一生の財産となります。また、卒業生の期を超えたつながりも夢工房ならではのことであり、年を重ねるごとに益々ネットワークは拡大しています。

合同勉強会 第18～20期

2022年9月、18期～20期の有志により、「人的資本経営とキャリア自律」をテーマに勉強会を開催。JMAのサポートのもと、花田先生にもお越しいただき、久しぶりのディスカッションを行いました。



開講25周年記念 「夢工房」特別講演会& 卒業生交流会

花田先生と高橋先生による講演と対談を2022年11月にリーガロイヤルホテル大阪にて開催。



これまでの参加企業(第1期～26期) (企業名は受講当時社名・順不同)

(株)IHターボ アイシン・エイ・ダブルユ(株) IDEC(株) (株)アシックス 味の素ファインテック(株) アスピオファーマ(株) 荒川化学工業(株) アルフレックスファーマ(株) (株)池田模範堂 石原産業(株) イズミヤ(株) 因幡電機産業(株) NECシステムテクノロジー(株) NTN(株) (株)NTTドコモ エフソン販売(株) 大阪ガス(株) 尾崎商事(株) 小野薬品工業(株) (株)オプテージ オムロン(株) オムロンアミューズメント(株) オムロンフィールドエンジニアリング(株) オムロンヘルスケア(株) カネカ(株) 川崎重工業(株) 関西日本電気ソフトウェア(株) 関西熱化学(株) (株)関電システムズ 関電システムソリューションズ(株) 関電プラント(株) 京セラ(株) 京都トヨペット(株)	(株)クボタ (株)クラタシステムサポート (株)ぐるなび グローリー(株) (株)グルメシティ近畿 光洋精工(株) コカ・コーラウエスト(株) コーセル(株) コーニングジャパン(株) (有)コーヨー興産 コクヨ(株) コクヨビジネスサービス(株) 小林製薬(株) (株)小松製作所 三幸製薬(株) 参天製薬(株) サントリー(株) 燐ホールディングス(株) 三洋電機(株) (株)JR東日本パーソナルサービス (株)ジェイテクト シスメックス(株) (株)資生堂 (株)島精機製作所 (株)島津製作所 (株)シマノ シャープ(株) (株)スギ薬局 (株)スズケン 住友金属工業(株) 住友生命保険相互会社 セイコーエプソン(株) センコー(株)	積水化学工業(株) 積水ハウス(株) 第一三共(株) (株)ダイエー 大見機械工業(株) ダイキン工業(株) ダイセル化学工業(株) 大日本住友製薬労働組合 ダイハツ工業(株) ダイワボウ情報システム(株) 武田薬品工業(株) (株)竹中工務店 田辺三菱製薬(株) 中部電力(株) 椿本興業(株) 帝人(株) 帝人クリエイティブスタッフ(株) (株)デザック (株)デンロコポレーション TOTO(株) (株)東海理化 東京冷機工業(株) 東ソー物流(株) 東洋アルミエコープロダクツ(株) 東洋アルミニウム(株) 東洋電波(株) 東洋紡績(株) 有限責任監査法人トーマツ (株)トクヤマ (株)トップ精工 (株)西島製作所 長浜キャノン(株) (株)中山製鋼所	ナショナル住宅産業(株) (株)ナブコ (株)ナリス化粧品 西日本電信電話(株) (株)ニチダイ 日昌(株) 日新電機(株) 日東電工(株) ニッセイ情報テクノロジー(株) 日本板硝子(株) 日本エヌエスシー(株) 日本管財(株) 日本植生(株) 日本新薬(株) 日本電気硝子(株) 日本特殊陶業(株) 日本ハム(株) 日本ハムキャリアコンサルティング(株) 日本ビラー工業(株) 日本ペイント(株) ネスレジャパンアドミニストレーション(株) ネスレジャパングループ ネスレ日本(株) ネットヨタ京華(株) ネットヨタナ神戸(株) (株)ノーリツ ハウスビジネスパートナーズ(株) パナソニック(株) パナソニックサイクルテック(株) パナソニック電工(株) (株)パルテック 阪急電鉄(株) P&G(株)	日立化成工業(株) (株)日立製作所 日立電線(株) (株)日立物流 広島ガス(株) 藤沢薬品工業(株) 富士通(株) 富士通テン(株) 船井電機(株) プラザー工業(株) (株)ベネッセコーポレーション 本田技研工業(株) マツダエース(株) (株)松村組 (株)マンダム 三菱重工業(株) 三菱電機エンジニアリング(株) ミノルタ(株) (株)村田製作所 大和工業(株) ヤマハ(株) ヤマハ発動機(株) ヤマハモーターエンジニアリング(株) ヤンマー(株) ヤンマー農機(株) UCC上島珈琲(株) リコージャパン(株) ロート製薬(株) ローム(株) ローランド ディー・ジー・(株) (株)ワコール (合計163社、577名)
--	--	---	--	---